

船橋国際福祉専門学校 2025年度 自己点検・自己評価

理念・教育目標	
<p>〈理念・ミッション〉</p> <p>(ア)教育・社会福祉専門課程(福祉教育部) 福祉の心を育み、福祉をともなう社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(イ)商業実務専門課程(国際教育部) 一人ひとりの能力と人間性、社会性を高め、社会に貢献できるビジネスパーソンを育成する。</p>	
<p>〈目標〉</p> <p>(ア)教育・社会福祉専門課程(福祉教育部) <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家資格合格を目指し、広く福祉の現場で活躍できる人間性豊かで意欲的な人材育成を目指す ・異文化の理解を深め、外国人を含む介護福祉人材への指導法や労務管理を学び課題解決にむけて行動できる ・介護福祉を学び実践者として介護福祉の様々な課題に関心をよせ、意欲的に活動する ・日本人と外国人が共に学び「共生社会」を築く重要性を学ぶ </p> <p>(イ)商業実務専門課程(国際教育部) 日本社会での就労、上位学府での勉学実現のために <ul style="list-style-type: none"> ・主体的実践力ある人材育成を目指す ・日本の文化、日本社会のルールを理解し、日本社会で共存できる人材育成を目指す ・必須の基礎能力として、実践的な日本語能力を高める ・ITスキルおよびビジネススキルの向上を図り、専門能力を高める </p>	

点検・評価項目		
1.教育理念・目的・目標		評価
1.1	教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか
評価結果の分析		教育理念等を踏まえた目的及び目標を設定し、養成する人材像を明確にしている。今年度は、各課程・各部門において教育目標との整合性を改めて確認し、学生指導や進路支援の場面で共有を進めた。
今後の改善方策		前年度の結果を踏まえ、教育理念・目的・目標の内容を毎年度確認する。あわせて、本校が関係する業界・企業に対するヒアリングを継続し、求められる人材像を把握したうえで、実態に即した内容となるよう引き続き見直しを行う。

2.教育課程、教育の実施、学修成果			評価
2.1	教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか	2
2.2	教育の実施	1.授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか 2.企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等の授業を行っているか 教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか	3
2.3	単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか	2
2.4	学修成果目標の達成状況	1.卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む)についての目標を定め、その目標が達成できているか 2.学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか	2
評価結果の分析		2.1について、各部門において教育課程編成・実施方針に基づき、教育課程を体系的に編成している。今年度は、授業内容、実習指導、進路支援とのつながりを確認し、系統性・段階性に配慮した授業科目の配置について点検を行った。 2.2については、講義、演習、実習等の授業形態に応じて教材や評価方法を整備している。 2.3及び2.4については、単位・卒業認定及び学修成果の把握を行っているが、資格合格、進学、就職等の成果を教育改善へつなげる仕組みについては、引き続き充実が必要である。	
今後の改善方策		教育課程及び教員の講義や実習等の継続的な改善のため、教員に関する研修活動の強化を図る。資格合格や進学・就職といった進路実現の効果を高めるため、対策授業内容及び学習支援の方法を見直す。学修成果の把握については、部門間で共有できる資料や指標を整理し、改善活動に反映できるよう取り組む。	

3.学生の受入れ、学生支援			評価
3.1	学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	1.入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか 2.学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか	2
3.2	自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいるか 学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習効果の向上や自主的な学習に関する適切な支援をおこなっているか	2
3.3	多様な学生に対する支援	適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか	2
3.4	学生生活に関する支援	1.カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか 2.留学者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか 3.学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか 4.学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか 5.学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	2
評価結果の分析		3.1について、入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、公正に選考を行っている。今年度は、募集・選考時の説明内容や提出書類の確認をより丁寧に行うよう努めた。 3.2については、学生の学力や学習状況を把握し、必要に応じて補習や個別指導を行っているが、自主学習の定着にはなお課題がある。 3.3及び3.4については、留学生を含む多様な学生の生活面・学習面の相談に対応しているが、支援内容の記録化と継続的な共有について改善の余地がある。	
今後の改善方策		入学前教育や自主的な学習の促進について、予習・復習につながる課題の内容や量を見直す。学生への適切な支援を継続するため、面談記録、出席状況、学習状況等を部門内で共有し、早期対応につなげる。留学生については、生活指導、在籍管理、アルバイト状況の確認を継続し、必要に応じて関係部署と連携して対応する。	

4.教育実施組織、教員			評価
4.1	教員の配置、募集、採用	<p>1.教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用しているか</p> <p>2.教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握しているか 教員の専門性、教授力を把握、評価しているか</p>	2
4.2	教員の組織編制等	<p>1.学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか</p> <p>2.教員間で連携、協力体制を構築しているか</p>	2
4.3	教員の資質の向上	<p>1.学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか</p> <p>1-2.職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているか</p> <p>2.教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っているか</p>	2
評価結果の分析		<p>4.1について、教育課程を実施するのに必要な資格・要件を備えた教員を確保するための基準等を整備し、募集及び採用を行っている。今年度は、担当科目と教員の経験・資格の整合性を確認し、授業運営に必要な体制を維持した。</p> <p>4.2については、教員間の連携・協力体制を整備しているが、部門をまたぐ情報共有については引き続き改善が必要である。</p> <p>4.3については、研修参加や自己研鑽の機会を設けているものの、継続的なFD活動としての整理と記録化に課題が残る。</p>	
今後の改善方策		<p>常勤教員、非常勤教員のそれぞれに対し、学校内外での研修活動を強化し、教育活動の改善へつなげる。研修内容や授業改善の取組について記録を残し、部門内で共有することで、教育の質の向上に結びつける。</p>	

5.教育環境		評価	
5.1	教育環境の整備	<p>1.教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか</p> <p>2.学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備しているか また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか</p> <p>3.図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか</p>	2
5.2	安全対策、防災組織	<p>1.学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか</p> <p>2.火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか</p>	2
5.3	施設・設備等の点検、改善等	<p>1.施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか</p> <p>2.施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか</p>	2
評価結果の分析		<p>5.1について、収容定員に対して必要な教室、設備を用意し、LAN設備とインターネット接続を整備している。自習スペースやラウンジも確保しており、図書室には必要な図書を備えている。今年度は、施設・設備の使用状況を確認し、日常的な不具合への対応を行った。</p> <p>5.2については、安全対策及び防災体制を整備している。</p> <p>5.3については、施設・設備等の点検を行っているが、年数の経過した設備や不具合箇所への計画的な更新については継続課題である。</p>	
今後の改善方策		<p>今後、業界の最新動向を把握できるような専門書や参考図書の充実を図る。施設・設備等について、年数の経っているものや不具合の生じているものを把握し、優先順位を付けて更新・修繕を進める。安全対策、防災体制については、訓練や点検の記録を整理し、継続的に改善する。</p>	

6.教育活動の基盤と改善・向上の取組			評価
6.1	中期事業計画と財務基盤	1.策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか 2.教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか	2
6.2	学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む)	2
6.3	学校評価の実施と改善活動	1.学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を学校の運営やその改善・向上において活用しているか 1-2.職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか 2.学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか 3.学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか	1
6.4	社会からの理解と情報の公表	1.学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか 2.教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいるか	1
評価結果の分析		6.1について、中長期的計画に教育目的・教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられている。財務基盤についても、教育活動を継続するための基本的な体制を維持している。 6.2については、学校運営の組織体制を整備し、必要な会議や情報共有を行っている。 6.3及び6.4については、学校評価や情報公表の取組を進めているが、外部意見を改善活動へ反映する仕組みや、情報公開の分かりやすさについては引き続き課題がある。	
今後の改善方策		学校の情報公開を進めることで、地域社会を含めた外部関係者の理解と協力を得られるよう準備を行う。学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等で得られた意見について、改善計画への反映状況を整理し、次年度の取組につなげる。	

評価

3 : 基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている

2 : 概ね基準を満たしている

1 : 基準を満たしておらず改善が必要